

平成21年度最高裁判所総合評価審査委員会（第1回） 議事概要

開催日及び場所	平成21年5月20日（水）最高裁判所公平審理室
委員	<p>委員長 深尾 精一（首都大学東京都市環境学部教授）</p> <p>委員長代理 浦江 真人（東洋大学理工学部准教授）</p> <p>委員 伊室 亜希子（明治学院大学法学部准教授）</p> <p>大村 信之（経理局営繕課首席技官）</p> <p>酒井 孝雄（同 次席技官）</p>
委員からの意見・質問及びそれに対する回答等	別添のとおり

議事 1 『平成 20 年度総合評価方式による発注状況について』

発注状況について説明。主な意見等は以下のとおり。

【委員】

補正予算案件も総合評価で発注するよう改善してもらいたい。

【事務局】

可能な限り対応したい。

【委員】

低入札価格調査とは、具体的にどういうことをするのか。

【事務局】

調査基準価格に満たない額の落札者について、施工が確保できるかという観点から、その価格で入札した理由、積算内容、労務・資材・重機等の調達計画、経営状況、信用状況等を調査する。

【委員】

このような時代であり、発注後に倒産する企業もあったのではないか。

【事務局】

民事再生手続をした事例が 1，2 件あった。

【委員】

工事を中止した事例は無かったか。

【事務局】

最高裁の案件では、中止した事例は無かった。

議事 2 『平成 21 年度総合評価方式の実施方針について』

総合評価方式の適用範囲、類型、発注見込み等の実施方針について説明。

主な意見等は以下のとおり。

【委員】

20 年度は裁判員制度関連工事が多かったが、21 年度工事の特徴は何か。

【事務局】

裁判員制度関連工事は概ね終わり、特徴は耐震改修である。

議事 3 『総合評価方式に関する技術提案の評価方法について』

総合評価方式の類型別評価項目、評価基準等について説明。主な意見等は以下のとおり。

【委員】

隣接県での施工実績は、入札参加資格としても求めているのではないか。

【事務局】

入札参加資格では入札に参加するための最低限の要件を満たしているかということを審査し、総合評価の項目では技術力を評価するものである。

議事4 『評価基準等の運用の一部見直しについて』

技術提案書作成要領記載事項の変更、評価結果分析への標準偏差の活用等について説明。
主な意見等は以下のとおり。

【委員】

技術提案評価結果について標準偏差を算出して、評価点のバラツキを分析、検証することは有効である。また、技術提案書の作成要領に誤解が生じないように分かりやすい文面に見直すことも必要である。今後も引き続き評価基準等の改善に心がけてもらいたい。

議事5 『平成21年度総合評価審査委員会の審査対象工事の抽出について』

審査対象工事の抽出について説明。主な意見等は以下のとおり。

【委員】

標準型工事7件のうち、八代支部庁舎新営建築工事及び加治木支部庁舎新営建築工事の2件を本審査委員会の審査対象工事とする（事務局案了承）。

議事6 『鹿児島地家裁加治木支部庁舎新営工事の概要について』

敷地状況、建物概要等について説明。主な意見等は以下のとおり。

【委員】

既存石塀は、そのまま残す計画か。

【事務局】

一部を残す計画である。

【委員】

残す方が良い。耐震対策はどうするのか。

【事務局】

石塀の後ろに鉄筋コンクリート製控え壁を設ける。

【委員】

事務室と廊下等の界壁は、9.5mm二重張りで天井までしか張っていないが、遮音性に問題ないか。仕上げ精度の良さが目的ならばそれでよいが、遮音性能が目的であれば、一枚は天井裏まで張り、天井から下を二重張りにする方が良いのではないか。

【事務局】

構造的に強いこと、仕上げ精度の良さから二重張りにしている。

議事7 『鹿児島地家裁加治木支部庁舎新営建築工事の総合評価について』

当該工事の評価項目（法廷、調停室等事件関係室の遮音性能を確保する施工上の工夫、建物内部への漏水対策、隣接施工における周辺への環境対策及び安全対策）について説明。主な意見等は以下のとおり。

【委員】

評価項目として妥当である。評価結果のバラツキがどれくらいかを見せてもらうことも

ある。窓の形状は引き違い窓か。

【事務局】

メインの窓は、滑り出し窓である。滑り出し窓は引き違い窓と比べて気密性が高くなるので、その点を考慮した。

【委員】

桜島の降灰対策はどうするのか。

【事務局】

加治木地方が桜島の北側に位置し、風向きが冬場は北西、夏場は南東であるため、ほとんど降灰の影響がないので特段の降灰対策はしていない。4月に桜島が噴火したときもほとんど影響がなかった。

【委員】

設備工事は別発注か。

【事務局】

電気設備と機械設備を、それぞれ簡易型総合評価方式で別発注する。

【委員】

評価項目「建物内部への漏水対策」については、アルミサッシ系統の漏水とコンクリート系統の漏水とを合わせて一つの評価項目としているので、企業によっては、アルミサッシの方で一生懸命書いてくる、コンクリートの方で一生懸命書いてくるということがあるのではないか。

【事務局】

そこに至る検討過程で、技術提案を求める観点を漏水対策とすると、二つを合わせて一つの評価項目とし、広く提案を求める方が良いと判断した。

【委員】

そうすると提案がし易いことから皆満点になり、評価点の差が付きにくくなることも考えられるので、評価方法について検討してもらいたい。

【事務局】

検討する。

議事8 『その他』

入札スケジュール等について説明。(意見等なし)